

室内環境測定および職員アンケート調査に関する  
結果報告書

名古屋工業大学 須藤美音研究室  
高畑 大和  
美濃加茂市 経営企画部施設経営課

平成 29 年 12 月 26 日

## 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1.1 対象施設概要 .....	2
1.2 環境測定調査の概要 .....	5
1.3 アンケート調査の概要 .....	10
第2章 環境測定調査の結果 .....	12
2.1 岐阜県美濃加茂市の外気温データ .....	13
2.2 室内の物理的環境について .....	15
2.2.1 アンケート期間の測定結果 .....	15
2.2.2 温度・湿度の出現割合 .....	19
第3章 アンケート調査の結果 .....	20
3.1 アンケート回答者の属性 .....	21
3.2 6つの環境の満足度および不満の要因に関する回答結果 .....	23
3.3 6つ環境の重要度および仕事の妨げ要因に関する回答結果 .....	32
3.4 新庁舎整備に関する回答結果 .....	34

## 第1章

### 調査の概要

- 1.1 対象施設概要
- 1.2 環境測定調査の概要
- 1.3 アンケート調査の概要

## 第1章 調査の概要

### 1.1 対象施設概要

本研究は、岐阜県美濃加茂市にある美濃加茂市役所庁舎本館・西館を対象として行った。以下、対象施設の概要を示す。

表 1.1.1 に調査の対象となる岐阜県美濃加茂市役所庁舎の建物の概要を示す。当該建物は本館および西館で構成されており、延床面積はそれぞれ 3,494 m<sup>2</sup>、1,671 m<sup>2</sup>である。本館の1～2階は窓口と執務スペース、3～4階は主に執務スペースと会議室で構成されている。また、西館の1～2階は窓口と執務スペース、3階は主に執務スペース、4～5階は主に会議室で構成されている。図 1.1.1、1.1.2 に庁舎の外観・内観写真を示す。

表 1.1.1 研究調査対象の概要

	美濃加茂市役所本館	美濃加茂市役所西館
竣工年	1961年4月	1979年3月
築年数	56年	38年
延床面積	3,494 m <sup>2</sup>	1,671 m <sup>2</sup>
階数	地上4階	地上5階



図 1.1.1 研究対象施設の外觀写真



図 1.1.2 研究対象施設の内観写真

## 1.2 環境測定調査の概要

### (1) 調査目的

本調査では、前述した対象施設において、執務スペースにおける温熱環境をはじめとした室内環境の実態を把握することを目的とした。

### (2) 調査概要

夏期の温熱環境に関する測定を行った。各階の代表点において、対象施設内の室内温度、室内湿度、照度、CO<sub>2</sub>濃度を測定した。調査の概要を表 1.2.1 に示す。環境測定は、2017年7月3日～8月25日において実施した。分析対象は平日の空調運転時間帯（9：00～17：00）とする。

表 1.2.1 環境測定概要

調査場所	美濃加茂市役所庁舎本館・西館
調査期間	2017/7/3～2017/8/25
測定項目	温度(°C)、湿度(%)、照度(lx)、CO <sub>2</sub> 濃度(ppm)
測定高さ	1,100mm(状況に応じて一部変更あり)

### (3) 測定点

各測定項目の測定点を図 1.2.1～図 1.2.5 に示す。照度は机上の高さ・床上の高さ、その他の項目は床上 1,100mm で測定を行った（状況に応じて一部変更あり）。



図 1.2.1 本館 1 階測定点

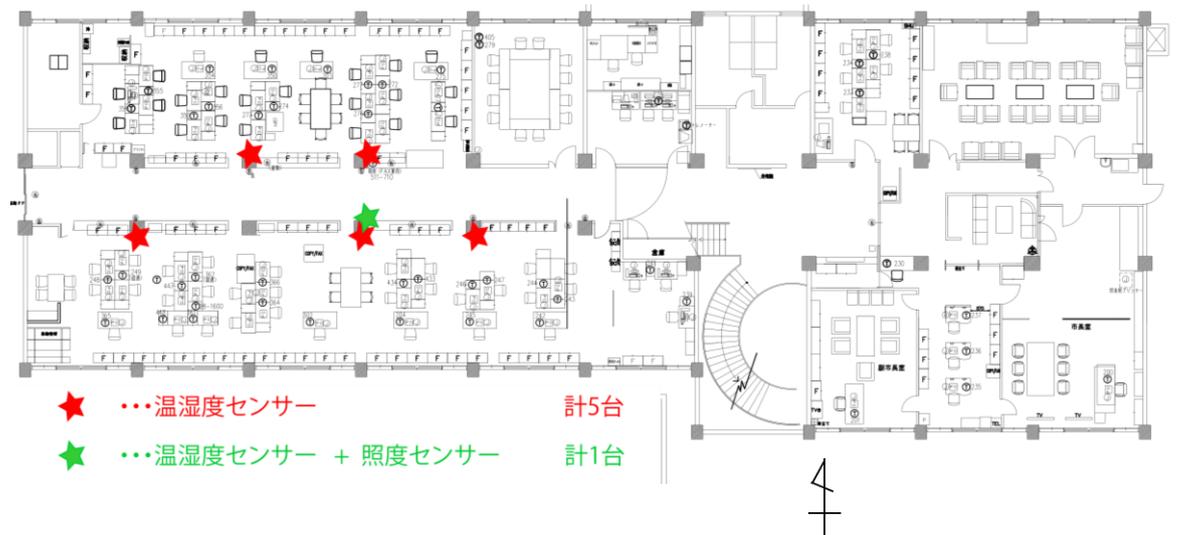


図 1.2.2 本館 2 階測定点

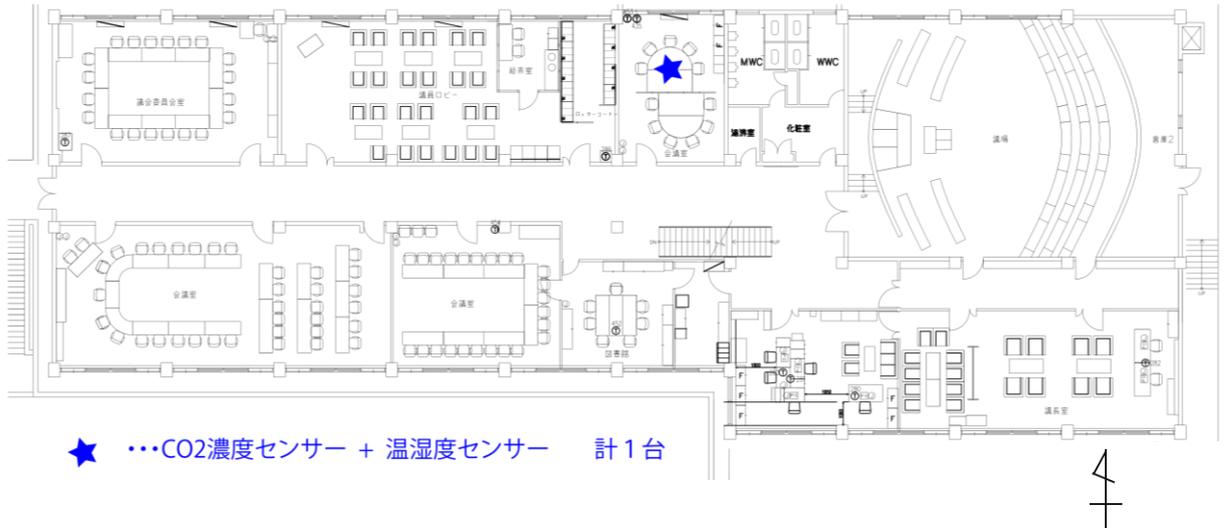


図 1.2.3 本館 3 階測定点

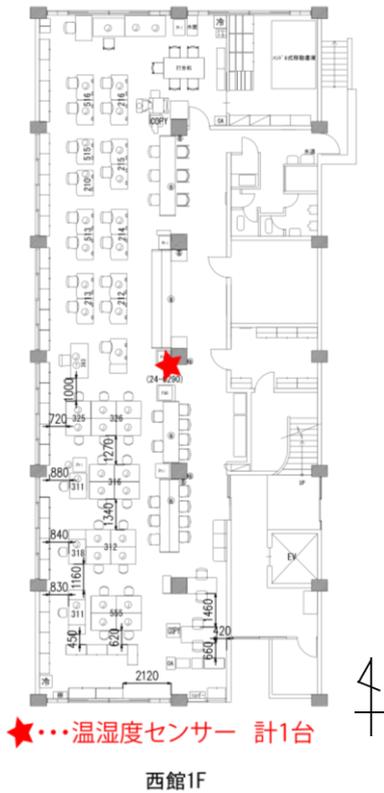


図 1.2.4 西館 1 階測定点



図 1.2.5 西館 3 階測定点

## (4) 測定機器・測定方法

各測定項目で使用した測定機器を表 1.2.2 に示す。

表 1.2.2 測定機器一覧

測定項目	単位	測定機器
温度	℃	自動計測温度湿度センサー メーカー:(株)エスペックミック 型番:RS-14  縦 5cm 横 8cm
相対湿度	%	
照度	lx	自動計測照度センサー メーカー:(株)エスペックミック 型番:RS-13L 
CO <sub>2</sub> 濃度	ppm	自動計測 CO <sub>2</sub> 濃度センサー メーカー:(株)エスペックミック 型番:THCO <sub>2</sub> 

### (5) 測定風景

以上に示した環境測定の様子を図 1.2.6 に示す。

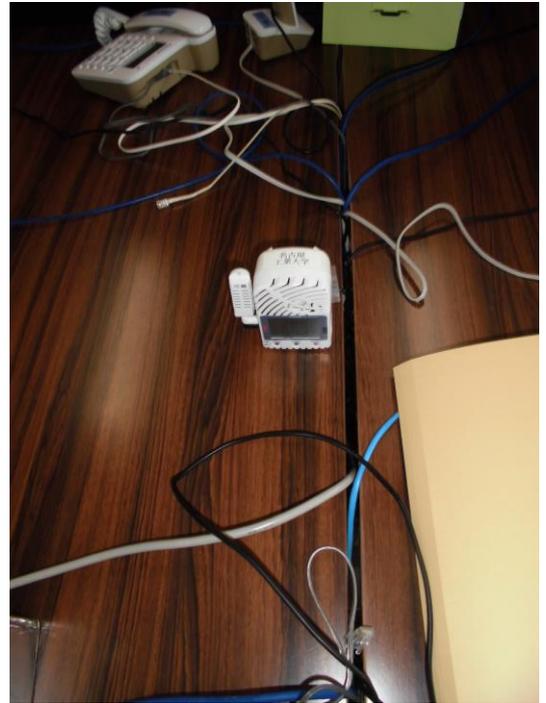
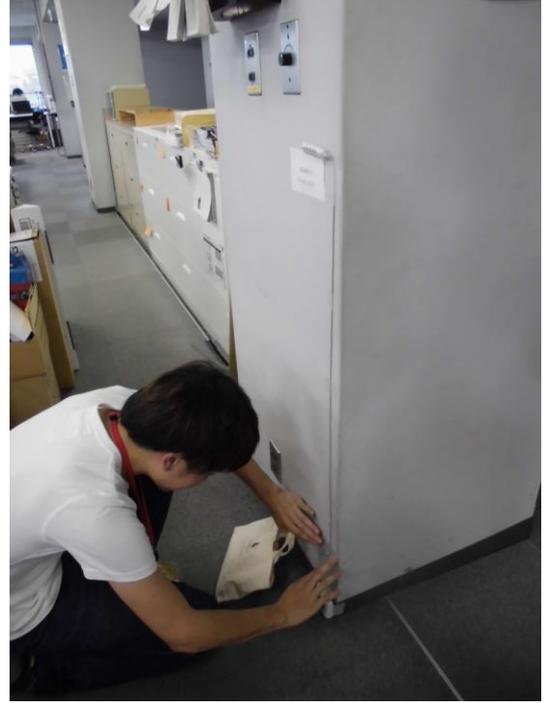


図 1.2.6 環境測定の様子

### 1.3 アンケート調査の概要

#### (1) 調査目的

本調査では、前述した対象施設において、夏期の執務スペースにおける温熱環境をはじめとした室内環境に対する職員の環境評価を明らかにすることを目的とした。

#### (2) 調査概要

表 1.3.1 にアンケート調査の概要を示す。アンケート調査は 2017 年 7 月 31 日～8 月 10 日において、WEB 回答で行った（インターネット回線の都合により、19 名のみ紙面回答）。アンケート内容は知的生産性評価ツールである SAP を参考に作成した。また、窓口職員とそれ以外の一般職員とで職種の違いによる影響を考慮し、一部設問を異なるものとした。

表 1.3.1 アンケート調査概要

調査対象	美濃加茂市役所職員
調査期間	2017/7/31～2017/8/10
回答者数	本館 106 名/西館 92 名

### (3) 調査内容

本研究を行うにあたり、アンケートを作成した。また、国土交通省／知的生産性研究委員会で開発された SAP(Subjective Assessment of Productivity)の質問項目を参考に質問項目を作成した。アンケートの質問項目を表 1.3.2 に示す。

表 1.3.2 アンケートの質問項目

大項目	小項目
I. 仕事場の環境について	問 1. 職場の場所
	問 2. 光環境について
	問 3. 温熱環境について
	問 4. 空気環境について
	問 5. 音環境について
	問 6. 空間環境について
	問 7. IT 環境について
	問 8. 各環境の重要度
	問 9. 業務の集中のしやすさ、妨げ要因
II. 庁舎内のリラクゼーションとコミュニケーションについて	問 10. 庁舎内のリラクゼーション
	問 11. 庁舎内のコミュニケーション
III. 新庁舎の整備について	問 12. 今後の庁舎に求めるもの
	問 13. 新庁舎の規模・機能集約について
IV. 個人の情報	問 14. 性別、年齢、職種

アンケートは 4 部構成である。

PART1 は仕事場の環境についての質問である。現状の執務スペースについて、上記で示した SAP の質問項目を参考に、各環境の満足度・各環境の不満の要因・各環境の重要度・業務のしやすさ、仕事の妨げとなる環境要素について聞いた。

PART2 は庁舎内でのリラクゼーションとコミュニケーションについての質問である。執務スペース以外でのリラクゼーションのしやすさ・外部企業や組織とのコミュニケーション・他部署との関わりについて聞いた。

PART3 は新庁舎の整備についての質問である。新庁舎における施設・設備、職員の働き方、規模・機能集約などについて聞いた。

PART4 は個人の基本情報についての質問である。年齢・性別・所属部課・職種について聞き、アンケート回答者の属性を得ることを目的とした。

## 第2章

### 環境測定調査の結果

2.1 岐阜県美濃加茂市の外気温データ

2.2 室内の物理的環境について

2.2.1 アンケート期間の測定結果

2.2.2 温度・湿度の出現割合

## 第2章 環境測定調査の結果

本章では、環境測定調査より得られた対象施設の執務スペースにおける物理的環境の測定結果について、分析を行った。

### 2.1 岐阜県美濃加茂市の外気温データ

環境測定調査を実施した2017年7月3日～8月25日において、対象施設のある岐阜県美濃加茂市の外気温データ（気象庁参照）を表2.1.1に示す。

表 2.1.1 岐阜県美濃加茂市の外気温データ

日付	曜日	平均気温(°C)	最高気温(°C)	最低気温(°C)
7月3日	月	28.4	33.6	23.1
7月4日	火	25.6	29.5	23.1
7月5日	水	25.8	29.4	22.3
7月6日	木	25.6	32	19.6
7月7日	金	26.8	33.8	20
7月8日	土	28	35.4	20.1
7月9日	日	27.3	30.8	24.1
7月10日	月	26.8	31.3	24.5
7月11日	火	28	32.9	23.9
7月12日	水	26.9	34.7	24.2
7月13日	木	26.8	32.9	24.4
7月14日	金	25.2	28	23.6
7月15日	土	27.9	33.8	22.8
7月16日	日	28.3	34.1	23.4
7月17日	月	27.3	33	22.8
7月18日	火	27.6	32.7	23.3
7月19日	水	27.8	34.8	23
7月20日	木	28.7	33.6	25.5
7月21日	金	27.8	31.9	24.1
7月22日	土	28.7	34	24.4
7月23日	日	26.1	28.9	24.9
7月24日	月	27.6	31.9	24.6
7月25日	火	26.9	29.4	25
7月26日	水	28.7	34.8	25.1
7月27日	木	25.2	26.9	24.1
7月28日	金	28.4	33.4	24.4
7月29日	土	29	33.8	25.7
7月30日	日	26.1	27.4	24.4

7月31日	月	29.1	34.8	24.4
8月1日	火	28.1	33.3	24.9
8月2日	水	27.7	34.3	23.9
8月3日	木	27	32.2	23.1
8月4日	金	28.9	34.4	25.2
8月5日	土	29	34.1	26
8月6日	日	30.1	36.1	26.2
8月7日	月	27.4	32	25
8月8日	火	26.9	30.7	24.2
8月9日	水	28.5	34.3	22.6
8月10日	木	28.2	33.6	24.4
8月11日	金	27.4	31.2	25.3
8月12日	土	27.5	33.1	24.5
8月13日	日	27.4	33.6	22.9
8月14日	月	26.7	30.9	23.2
8月15日	火	23.7	25.8	21.9
8月16日	水	25	27.8	23.2
8月17日	木	27.7	32.5	23.8
8月18日	金	25.8	31	22.7
8月19日	土	27.4	33.4	22.8
8月20日	日	27.5	33	23.2
8月21日	月	28.4	32.7	25
8月22日	火	27.1	32.7	23.7
8月23日	水	26.6	29.9	23.6
8月24日	木	29.3	35.2	24.1
8月25日	金	27.6	33	24.5

## 2.2 室内の物理的環境について

### 2.2.1 アンケート期間の測定結果

ここでは、アンケート実施期間（2017年7月31日～8月10日から土日を除く）9日間のデータについて、分析を行った。対象施設の執務スペースにおける物理的環境について、測定項目ごとに結果を示す。

#### (1) 室内温度の測定結果

図 2.2.1 にアンケート実施期間での対象施設の執務スペースにおける平均室内温度の測定結果について、5つのフロアごとに示す。

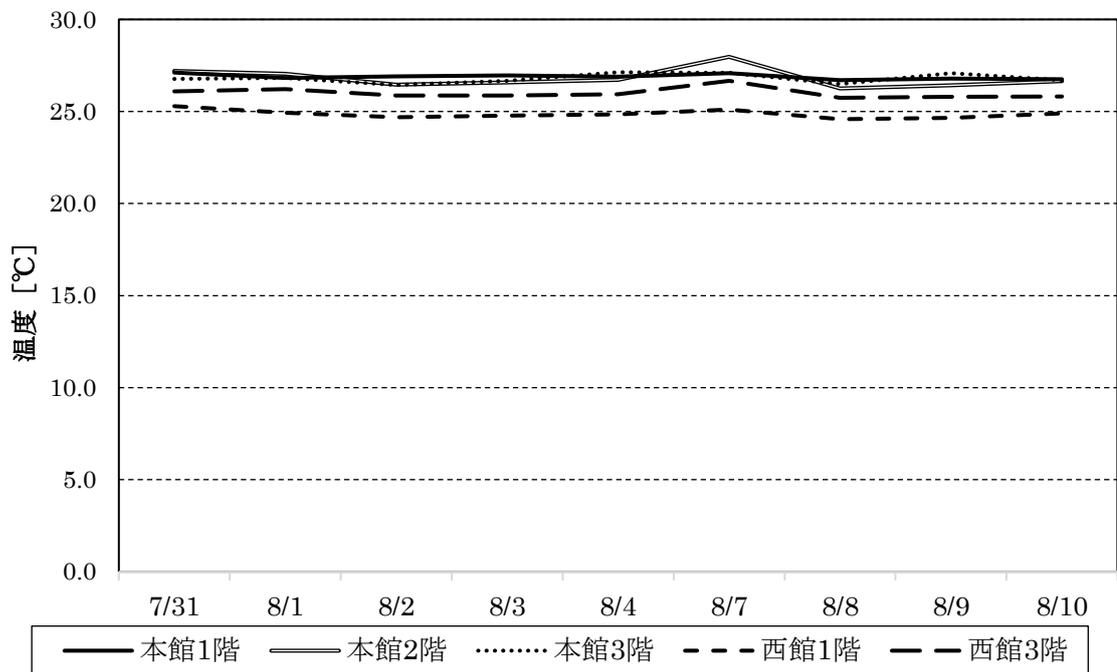


図 2.2.1 室内温度の測定結果

全てのフロアにおいてビル衛生管理法で定められている 17.0°C～28.0°Cの基準の範囲内を常に満たしている結果となった。また、本館フロアは西館フロアに比べ、室内温度が比較的高い分布となった。1日ごとの温度変動に関しては、全てのフロアにおいて比較的小さい結果となった。図中の8月7日と8月8日の温度差が示すように、1日で2.0°C近く平均室内温度が変化する場所があるような日もあった。

## (2) 室内湿度の測定結果

図 2.2.2 にアンケート実施期間での対象施設の執務スペースにおける平均室内湿度の測定結果について、(1)と同様に5つのフロアごとに示す。

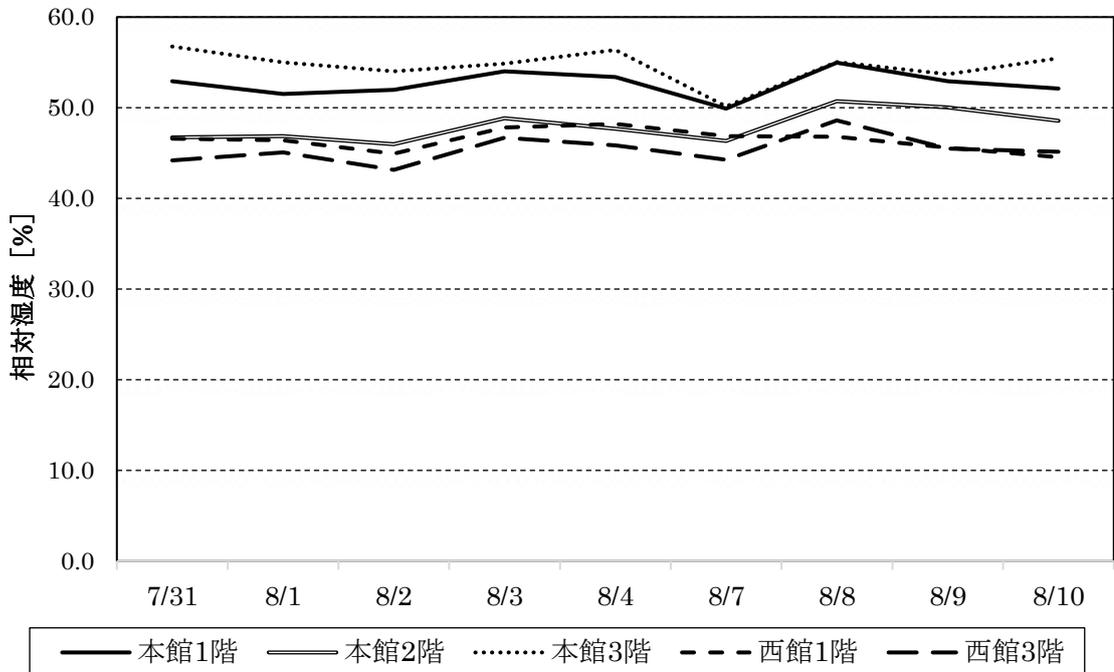


図 2.2.2 室内湿度の測定結果

(1)で示した室内温度の結果と同様に、湿度に関しても全てのフロアにおいてビル衛生管理法で定められている40.0%~70.0%の基準の範囲内を、常に満たしている結果となった。本館1階と本館3階は50.0%~60.0%の数値を常に示し、比較的高い分布となった一方で、本館2階・西館1階・西館3階は40.0%~50.0%の数値を示した。また、全てのフロアにおいて、1日ごとの湿度変動としては5.0%未満程度であり、温度と同様に1日毎の平均湿度の差はあまり見られなかった。

### (3) CO<sub>2</sub> 濃度の測定結果

図 2.2.3 にアンケート実施期間での対象施設の執務スペースにおける CO<sub>2</sub> 濃度の測定結果について、2 つのフロアごとに示す (CO<sub>2</sub> 濃度の測定は、本館 1 階と本館 3 階のみで行った)。

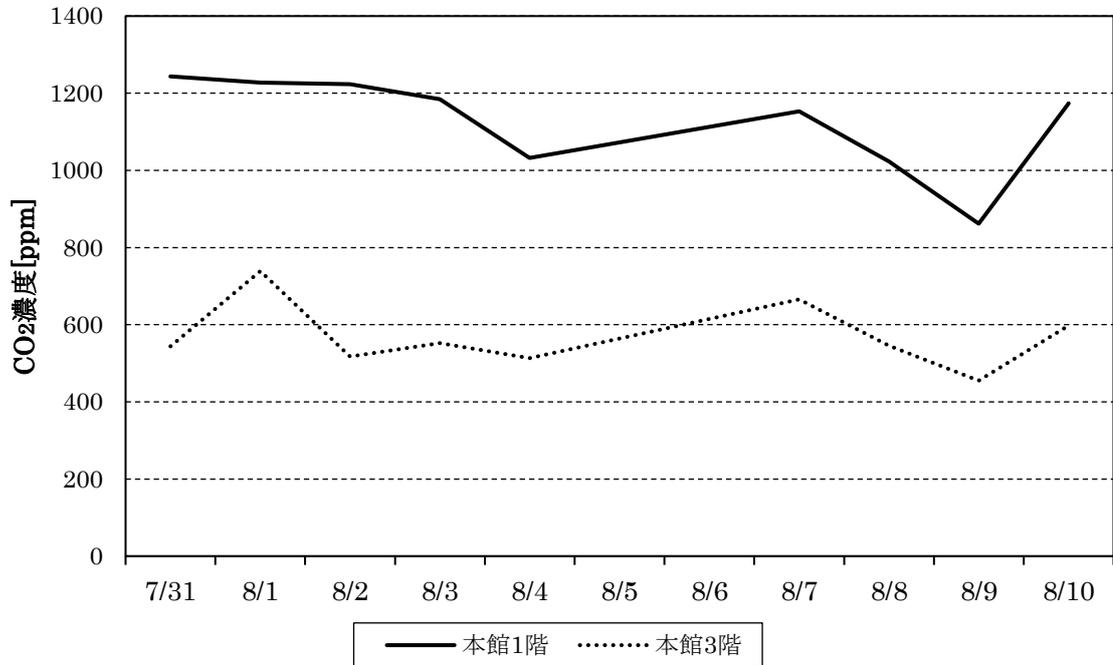


図 2.2.3 CO<sub>2</sub> 濃度の測定結果

本館 1 階の測定結果は、ビル衛生管理法で定められた 1,000ppm 以下の基準を 8/9 を除いて、常に超えている結果となった。一方で、本館 3 階の測定結果は、400ppm～800ppm の値を示し、1,000ppm 以下の基準を常に満たしている結果となり、2 つのフロアで大きな差が見られた。また、1 日毎の変動に関しては、温度・湿度の測定結果と異なり、比較的大きい結果となった。本館 1 階・本館 3 階ともに、8/9 に最も低い数値を示し、期間中の測定結果の変化に同様の傾向が見られた。

#### (4) 室内照度の測定結果

図 2.2.4 にアンケート実施期間での対象施設の執務スペースにおける室内平均照度の測定結果について、2つのフロアごとに示す。本館1階は執務スペースにおける机上面の照度について測定を行った。また、本館2階に関しては、水平歩行を想定し、廊下の床面の照度について、測定を行った。

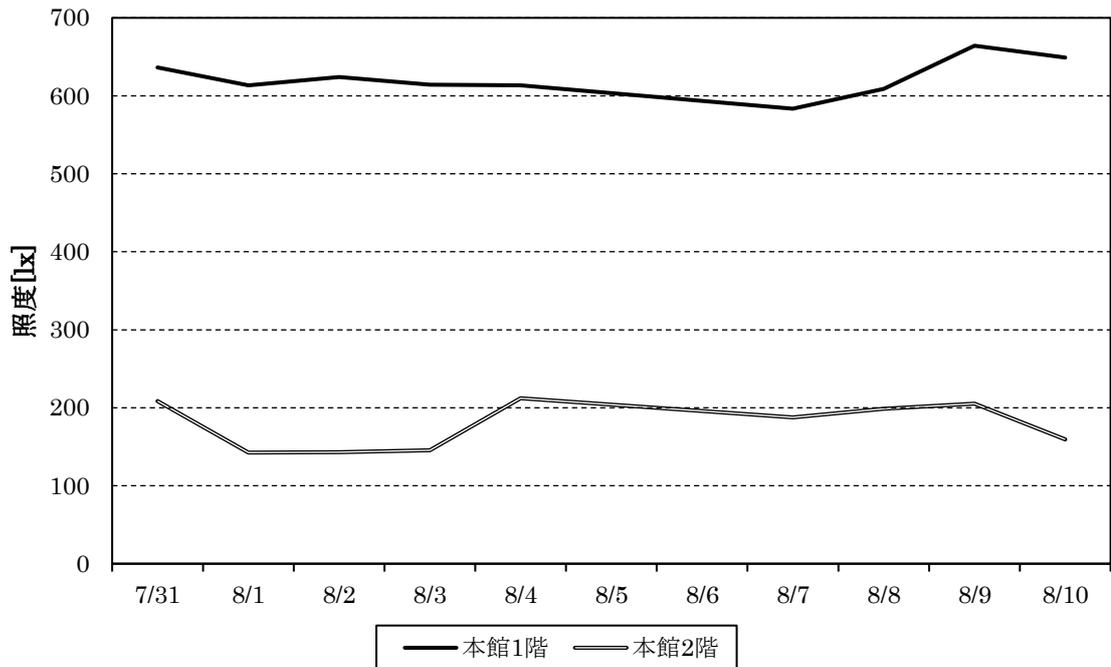


図 2.2.4 室内照度の測定結果

本館1階の照度については、主に600lx～700lxの値を示し、JISにより定められた事務室の机上面の照度基準500lxを常に満たしている結果となった。本館2階に関しては、主に100lx～200lxの値を示し、事務室の廊下における照度基準100lxを常に満たしている結果となった。1日毎の変動に関しては、本館1階・本館2階ともに比較的小さいことがわかった。

## 2.2.2 温度・湿度の出現割合

図 2.2.5、2.2.6 にアンケート実施期間 9 日間の全温度・湿度データの出現割合について、9 つのエリアごとに示す。測定台数が複数存在した本館 1 階・本館 2 階に関しては、北側・廊下・南側の 3 つに区別して分析を行った。

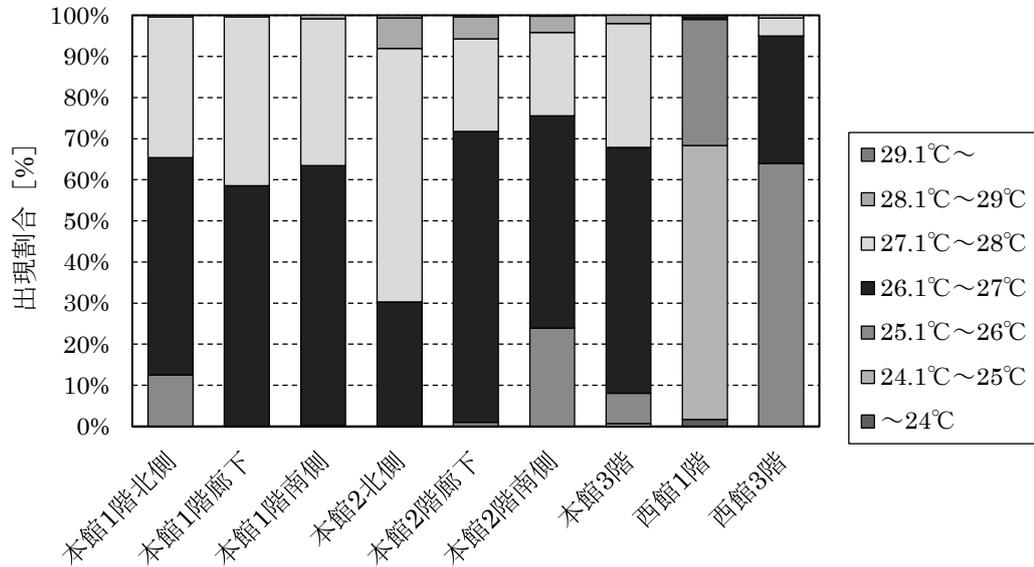


図 2.2.5 室内温度の出現割合

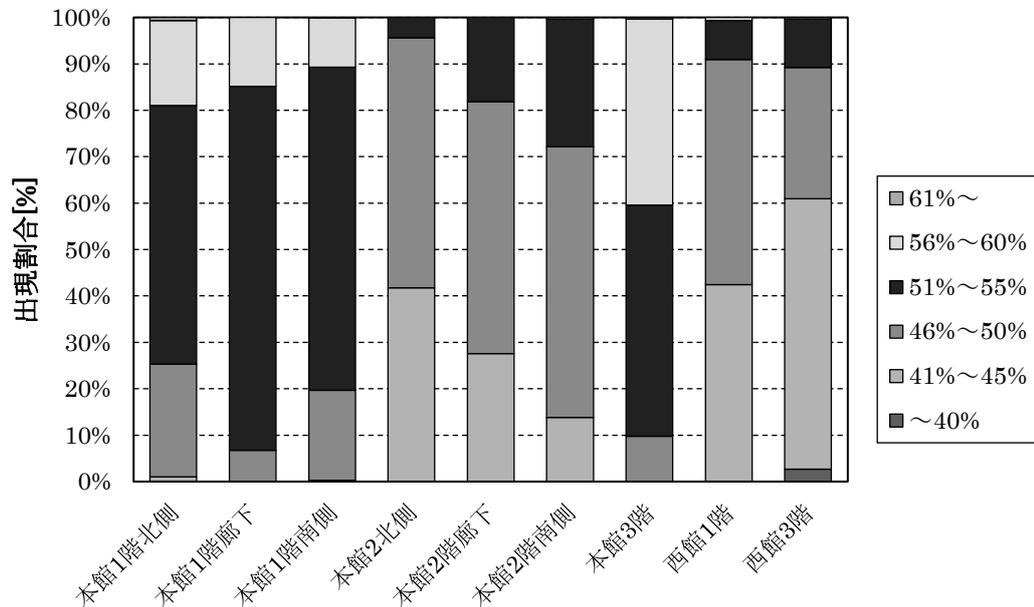


図 2.2.6 室内湿度の出現割合

室内温度・室内湿度の結果はともに、同じ階における北側や南側など、縦方向での温度や湿度の違いはあまり見られなかった。しかし、本館・西館における違いやフロアごとでの差は温度・湿度ともに見られる結果となった。

## 第3章

### アンケート調査の結果

- 3.1 アンケート回答者の属性
- 3.2 6つの環境の満足度および不満の要因に関する回答結果
- 3.3 6つの環境の重要度および仕事の妨げ要因に関する回答結果
- 3.4 新庁舎整備に関する回答結果

### 第3章 アンケート調査の結果

本章では、アンケート調査より得られた対象施設の執務スペースにおける各環境の満足度および不満の要因、重要度、仕事の妨げとなる環境要素などについて年齢別に分析を行った。また、新庁舎整備に関する設問についても分析を行った。

#### 3.1 アンケート回答者の属性

本館・西館に分けて、アンケート回答者の属性を見ていく。グラフ内の数字はいずれも該当者数を表している。アンケート回答者数は、本館 106 名、西館 92 名である。

まず、アンケート回答者の性別の割合を図 3.1.1 に示す（未回答は除く）。

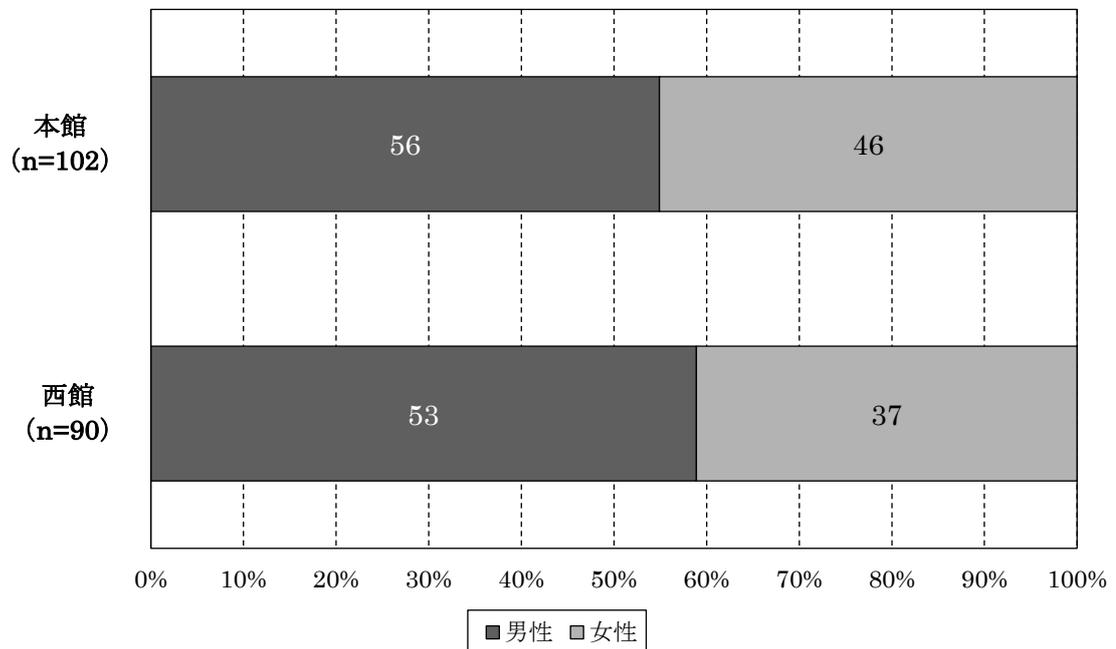


図 3.1.1 アンケート回答者の性別

本館職員の性別は男性 55%、女性 45%で、西館職員は男性 59%、女性 41%であった。本館・西館でほぼ同様の傾向を示した。

次に、アンケート回答者の年代の割合を図 3.1.2 に示す（未回答は除く）。

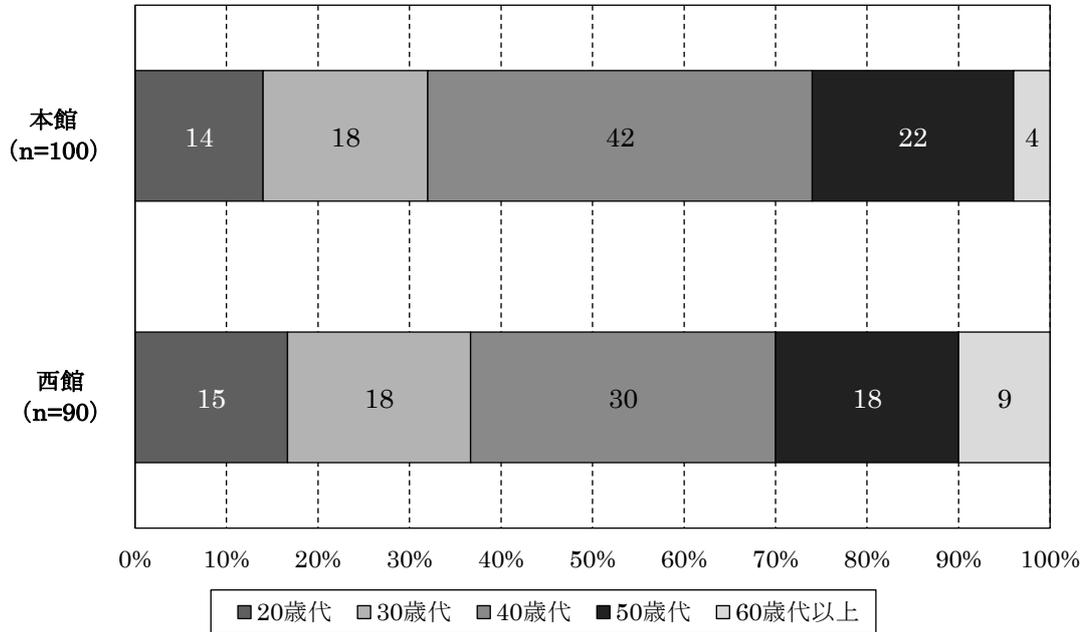


図 3.1.2 アンケート回答者の年代

本館職員の年齢は 20 代 14%、30 代 18%、40 代 42%、50 代 22%、60 代以上 4%で、西館職員は 20 代 17%、30 代 20%、40 代 33%、50 代 20%、60 代以上 10%であった。性別と同様に、本館・西館ともにほぼ同様の割合を示した。また、ともに 40 代が最も多く、50 代と 60 代以上の割合は本館 26.0%、西館 30.0%であった。

### 3.2 6つの環境の満足度および不満の要因に関する回答結果

ここでは、アンケート調査より得られた、対象施設の執務スペースにおける6つの室内環境の満足度および不満の要因について年齢別に分析を行った。グラフ内の数値はアンケート回答者数を示す。

#### (1) 光環境

まず、執務スペースの自分のデスクの明るさについて、年齢別の回答割合を図3.2.1に示す(未回答は除く)。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

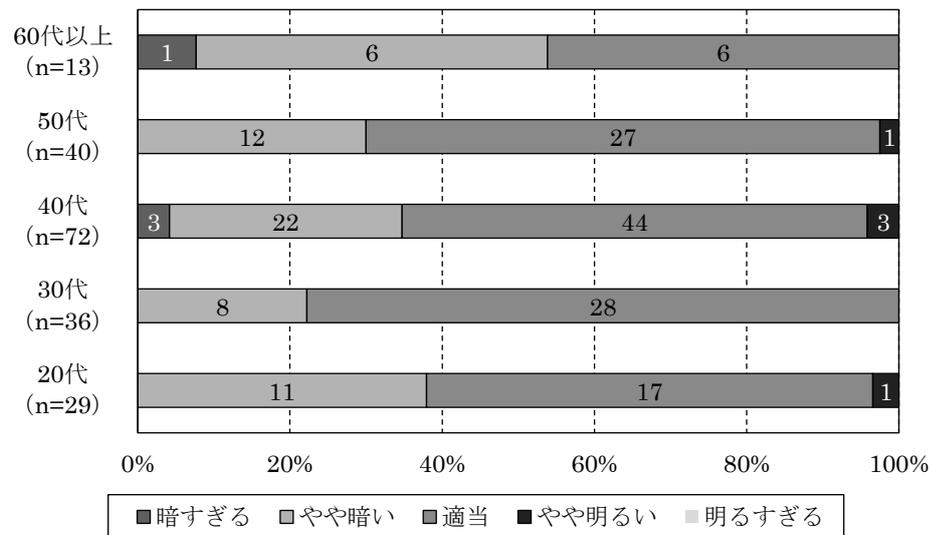


図 3.2.1 自分のデスクの明るさについて

全ての年代において、「適当」の回答割合が最も大きい結果となった。また、「60代以上」の「やや暗い」の回答割合は他の年代に比べ、比較的高い結果となった。また、全ての年代において、「明るすぎる」「暗すぎる」の回答は少ない。

次に、執務スペースの光環境の満足度について、年齢別の回答割合を図 3.2.2 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

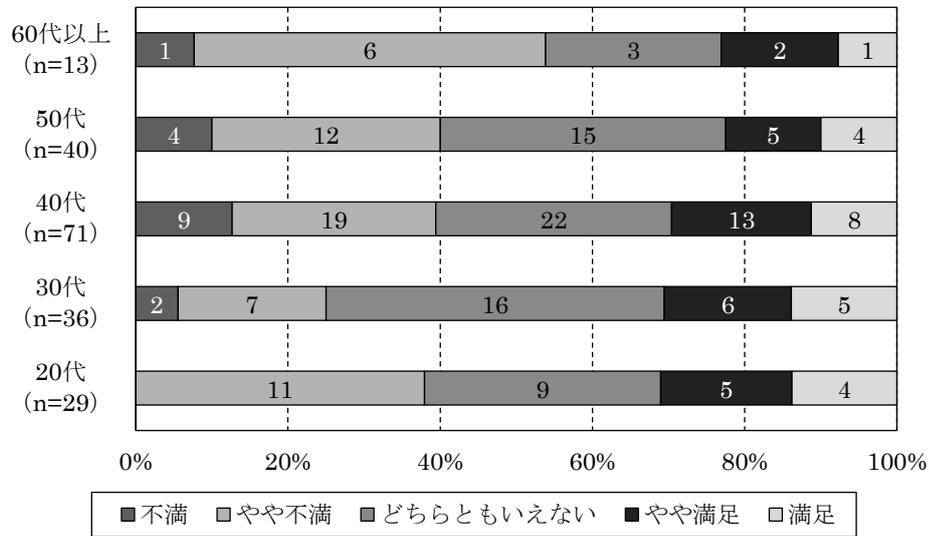


図 3.2.2 光環境の満足度について

年齢が上がるにつれ、「不満」・「やや不満」の回答割合は増加傾向にあり、「満足」・「やや満足」の回答割合は減少傾向が見られた。また、「20代」は「不満」という回答者はいなかった。

次に、執務スペースの光環境の不満の要因について、年齢別の回答割合を図 3.2.3 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

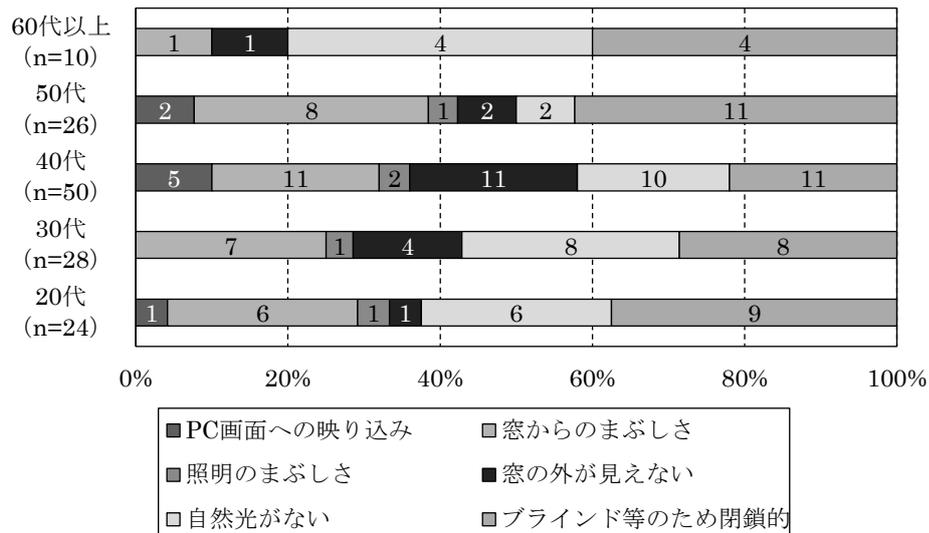


図 3.2.3 光環境の不満の要因について

全ての年代で、「ブラインド等のため閉鎖的」の回答割合は大きく、「60代以上」・「50代」の回答割合は約 40%を示した。また、「窓からのまぶしさ」・「自然光がない」なども主な不満の要因となっている。

## (2) 温熱環境

まず、夏期の執務スペースにおける温冷感について、年齢別の回答割合を図 3.2.4 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

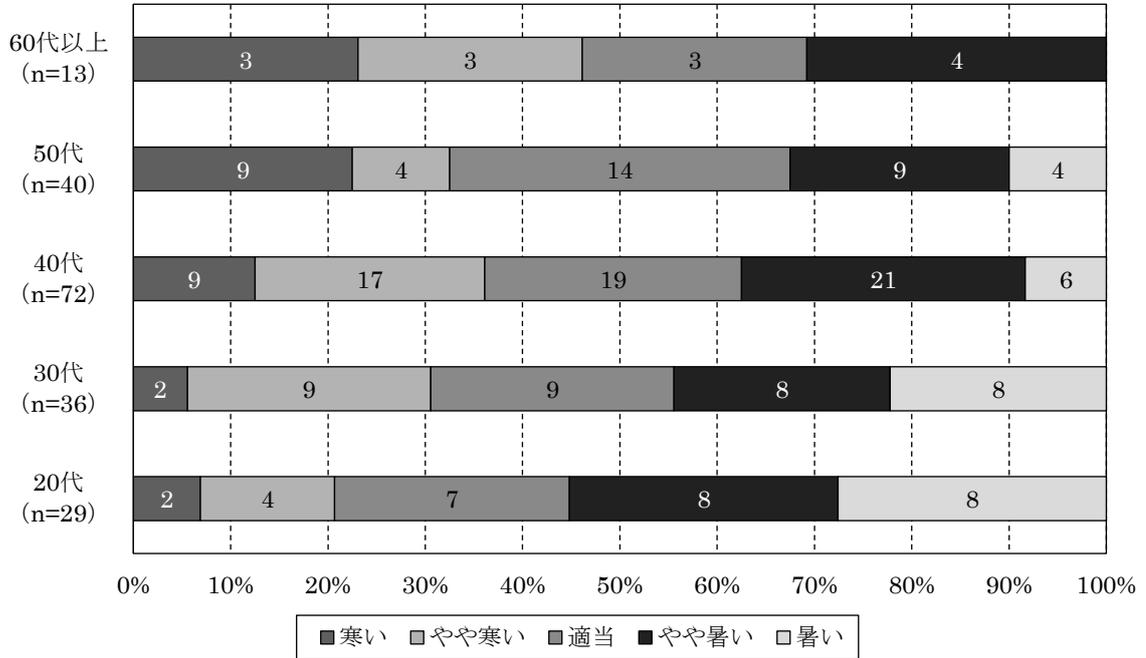


図 3.2.4 執務スペースにおける温冷感について

「寒い」・「やや寒い」とする回答者の割合は年齢が上がるにつれて順に大きくなっている。一方で、「暑い」・「やや暑い」とする回答者の割合は年齢が上がるにつれて順に小さくなっている。また、「60代以上」は「暑い」という回答者はいなかった。「どちらともいえない」の回答割合は全ての年代において、約20%~30%を示し、大きな違いは見られなかった。執務スペースにおける温冷感において、年齢別の傾向や違いが見られる結果となった。

次に、夏期の執務スペースにおける湿度感について、年齢別の回答割合を図 3.2.5 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

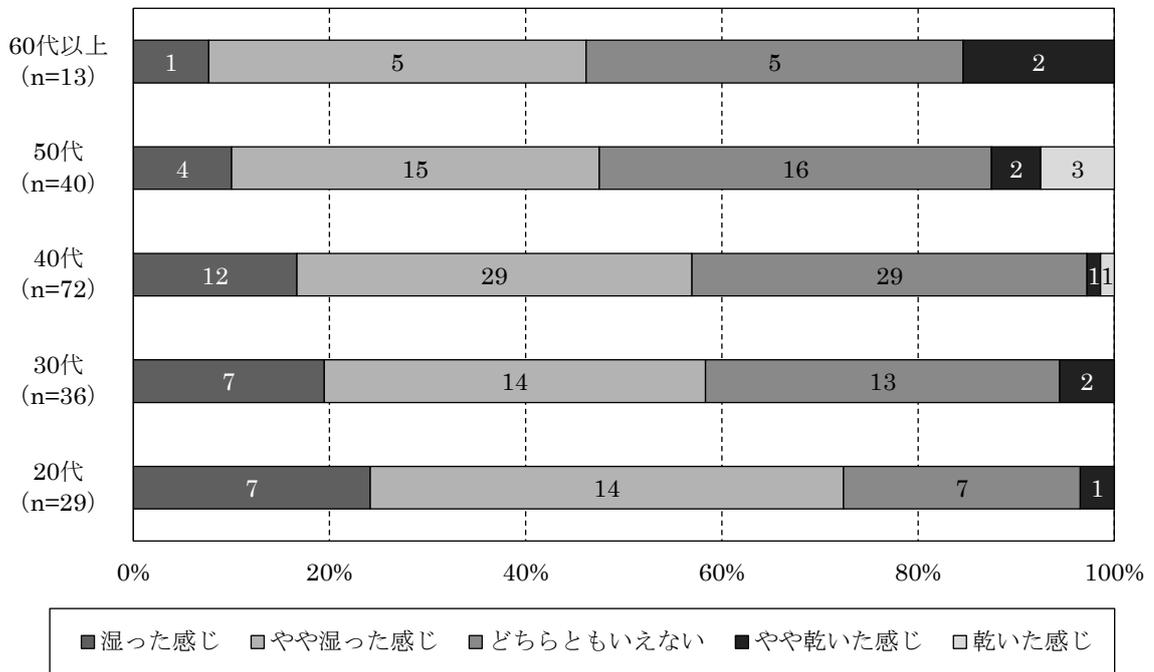


図 3.2.5 執務スペースにおける湿度感について

「湿った感じ」・「やや湿った感じ」と回答した人の割合は年齢が上がるにつれて小さくなっている。一方で、「どちらともいえない」・「やや乾いた感じ」と回答した人の割合は年齢が上がるにつれて大きくなっている。また、「40代」・「50代」で「乾いた感じ」の回答が見られた。執務スペースにおける湿度感においても、年齢別の傾向や違いが見られる結果となった。

次に、夏期の執務スペースにおける温熱環境の満足度について、年齢別の回答割合を図 3.2.6 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

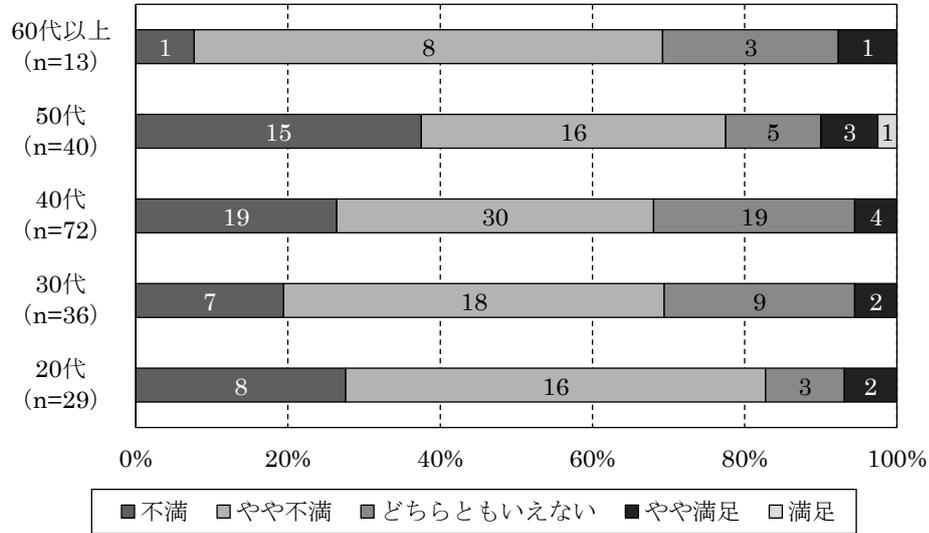


図 3.2.6 温熱環境の満足度について

全ての年代において、「やや不満」・「不満」の回答割合は大きく、特に「20代」は不満に感じている人の割合が80%を超える結果となった。

次に、夏期の執務スペースにおける温熱環境の不満の要因について、年齢別の回答割合を図 3.2.7 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

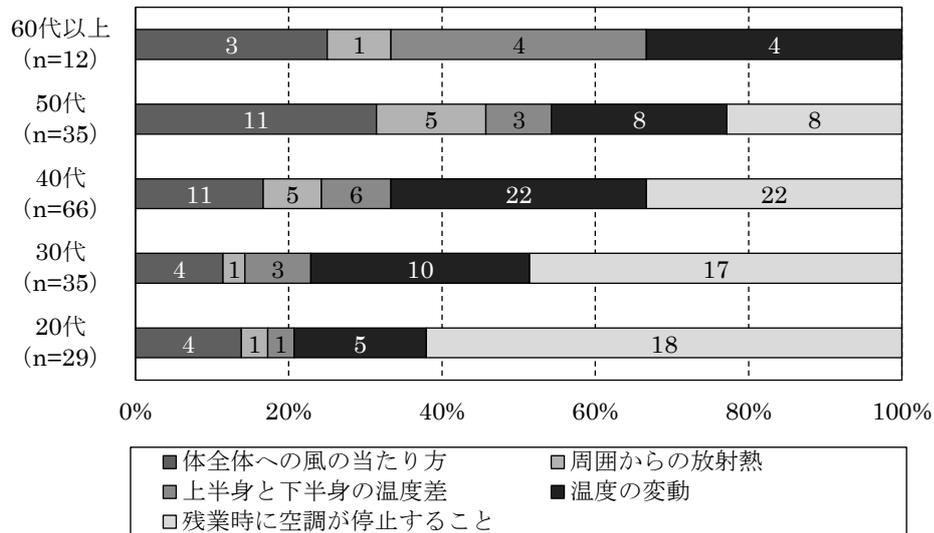


図 3.2.7 温熱環境の不満の要因について

「残業時に空調が停止すること」に「20代」が62.1%回答し、年齢が上がるにつれてその回答割合に減少傾向が見られた。「60代以上」においては、「上半身と下半身の温度差」「温度の変動」が33.3%と最も高い回答割合となった。また「50代」と「60代以上」では「体全体への風の当たり方」が他の年齢層と比較すると高い回答割合を示した。

### (3) 空気環境

まず、執務スペースにおける空気環境の満足度について、年齢別の回答割合を図 3.2.8 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

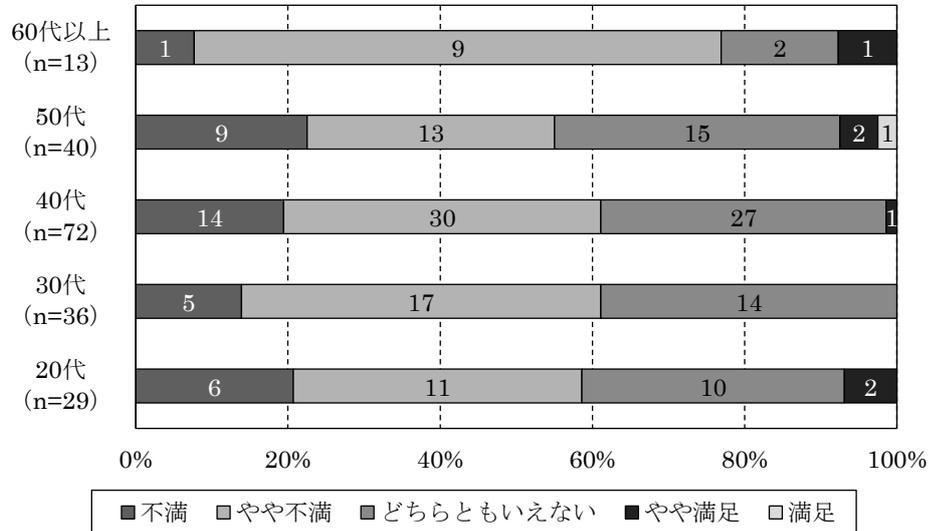


図 3.2.8 空気環境の満足度について

「20代」～「50代」はほぼ同様の回答割合を示した。一方で、「60代以上」は「やや不満」の回答率が比較的高い結果となった。また「30代」は「やや満足」・「満足」の回答者はいなかった。

次に、執務スペースにおける空気環境の不満の要因について、年齢別の回答割合を図 3.2.9 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

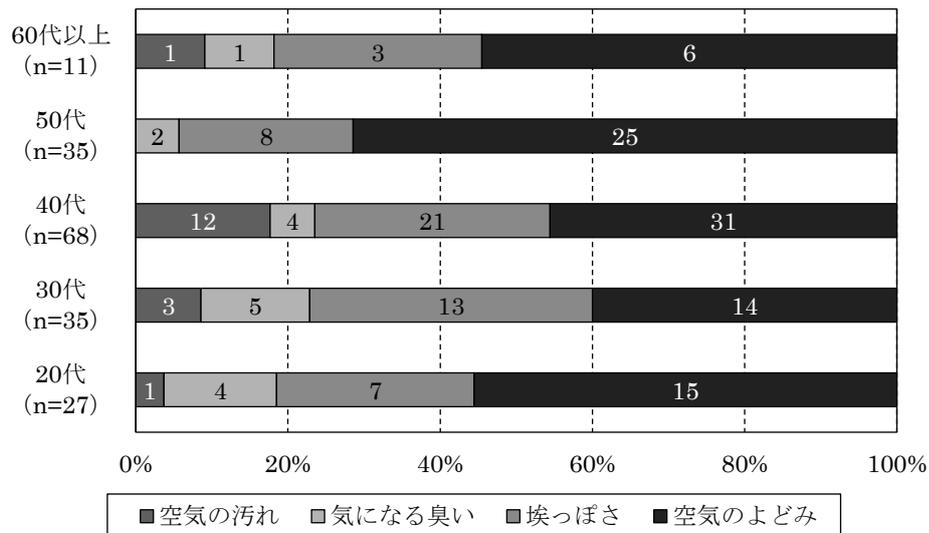


図 3.2.9 空気環境の不満の要因について

全ての年代において、「空気のよどみ」の回答率が最も大きい。「埃っぽさ」の回答率も各年代で、比較的高い割合を示した。

#### (4) 音環境

まず、執務スペースにおける音環境の満足度について、年齢別の回答割合を図 3.2.10 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

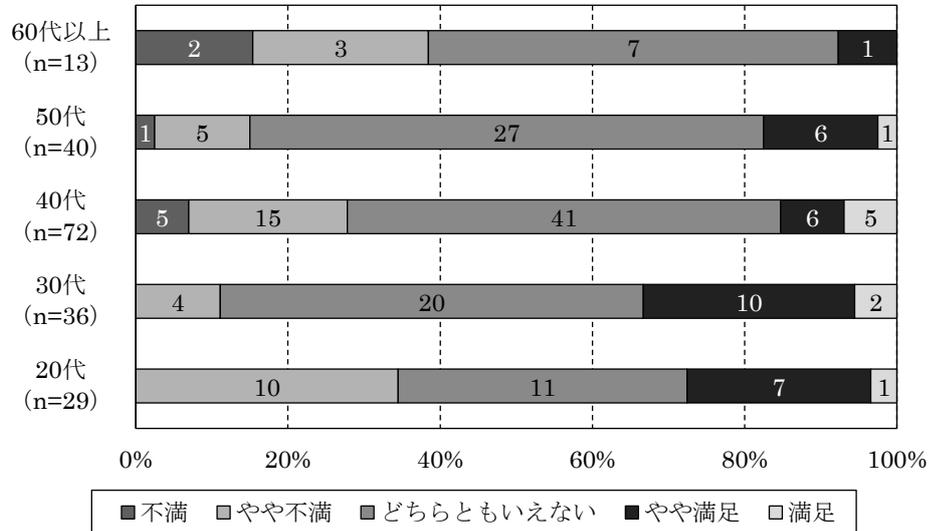


図 3.2.10 音環境の満足度について

全ての年代において、「どちらともいえない」の回答割合が最も大きい。また、年代が上がるにつれて、「やや満足」・「満足」の回答割合は減少傾向であった。「20代」・「30代」は「不満」と回答したものはなかった。

次に、執務スペースにおける音環境の不満の要因について、年齢別の回答割合を図 3.2.11 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

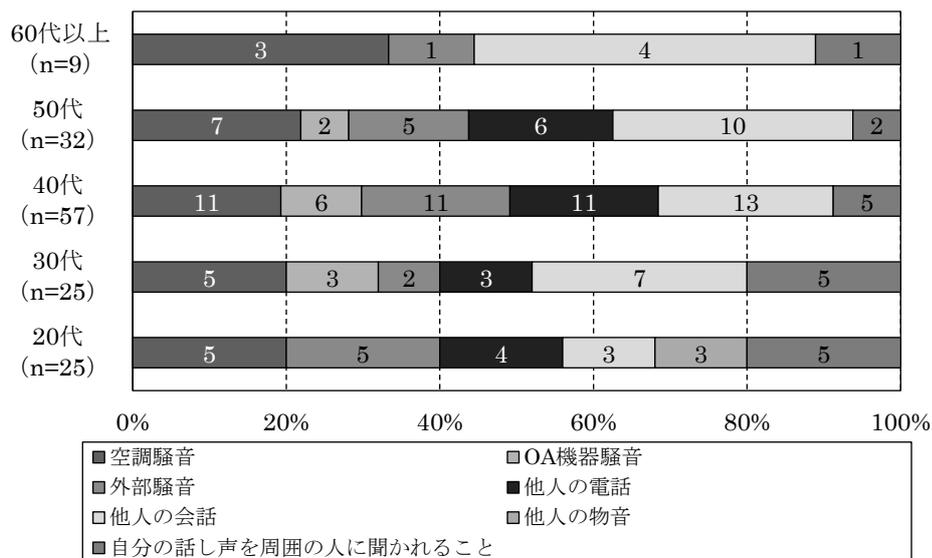


図 3.2.11 音環境の不満の要因について

「60代以上」は他の年代に比べ、「空調騒音」・「他人の会話」が比較的高い回答割合を示し、全ての年代において回答者が0人となった選択肢もあった。

### (5) IT 環境

まず、執務スペースにおける IT 環境の満足度について、年齢別の回答割合を図 3.2.12 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

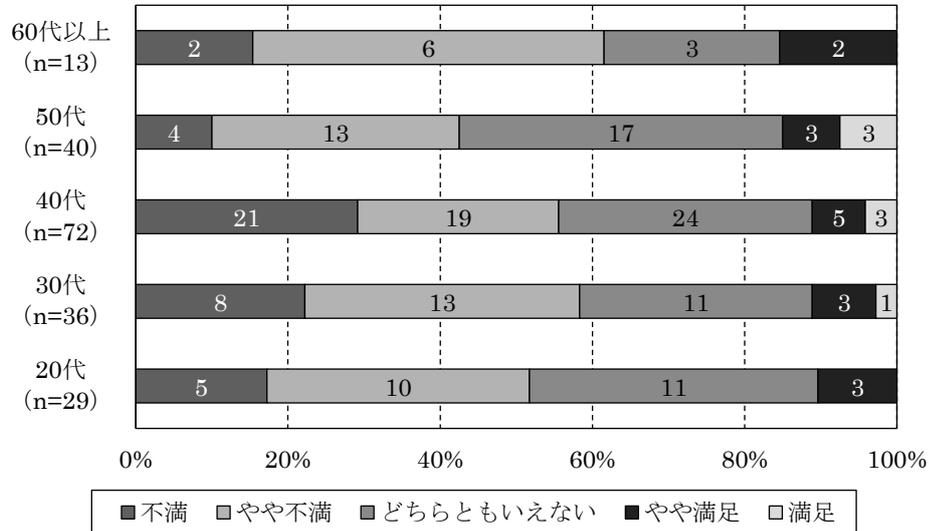


図 3.2.12 IT 環境の満足度について

各年代において、「やや不満」・「不満」の回答割合が比較的大きい。また「20代」・「60代以上」は「満足」と回答するものはいなかった。

次に、執務スペースにおける IT 環境の不満の要因について、年齢別の回答割合を図 3.2.13 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

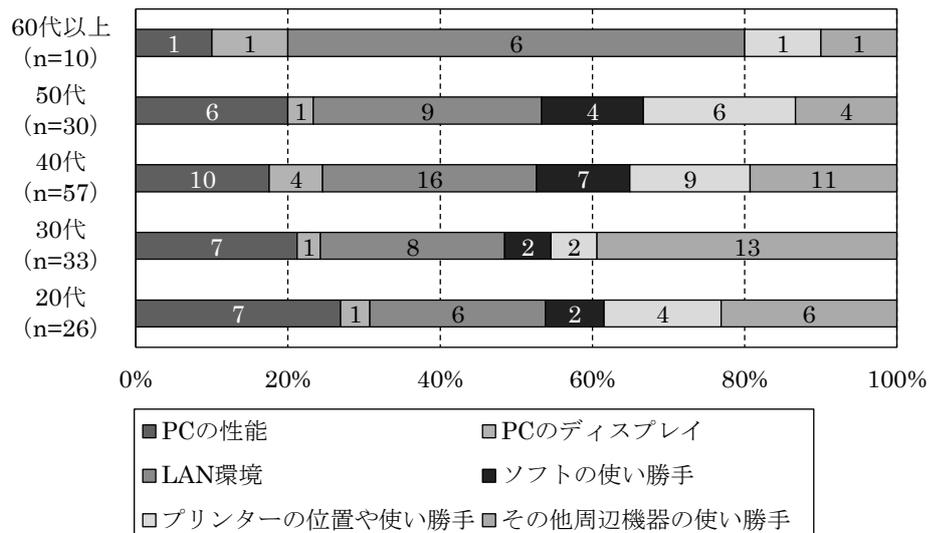


図 3.2.13 IT 環境の不満の要因について

年代が上がるにつれて、「PC の性能」は減少傾向にあり、「LAN 環境」は増加傾向にあった。また、「PC のディスプレイ」・「ソフトの使い勝手」は各年代低い回答割合を示した。

## (6) 空間環境

執務スペースにおける空間環境の満足度について、年齢別の回答割合を図 3.2.14 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

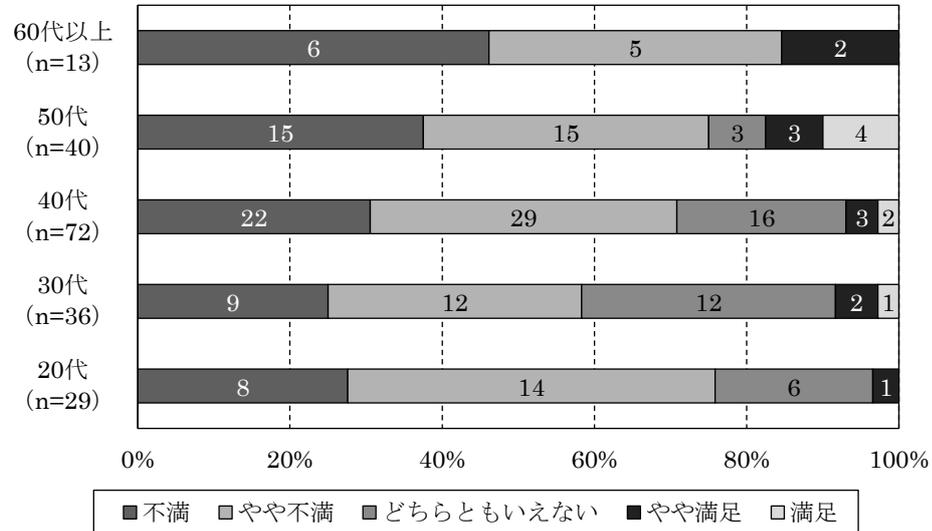


図 3.2.14 空間環境の満足度について

年代が上がるにつれ、「不満」の回答割合に増加傾向が見られた。また各年代不満度が高く、「60代以上」は「やや不満」・「不満」の回答割合が80%を超えた。

### 3.3 6つの環境の重要度および仕事の妨げ要因に関する回答結果

ここでは、アンケート調査より得られた、対象施設の執務スペースにおける6つの室内環境の重要度および仕事の妨げとなる環境要素について分析を行った。

まず、図3.3.1に執務スペースの6つの環境の満足度についてアンケート回答者198名の平均値を6つの環境毎に示す(未回答は除く)。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

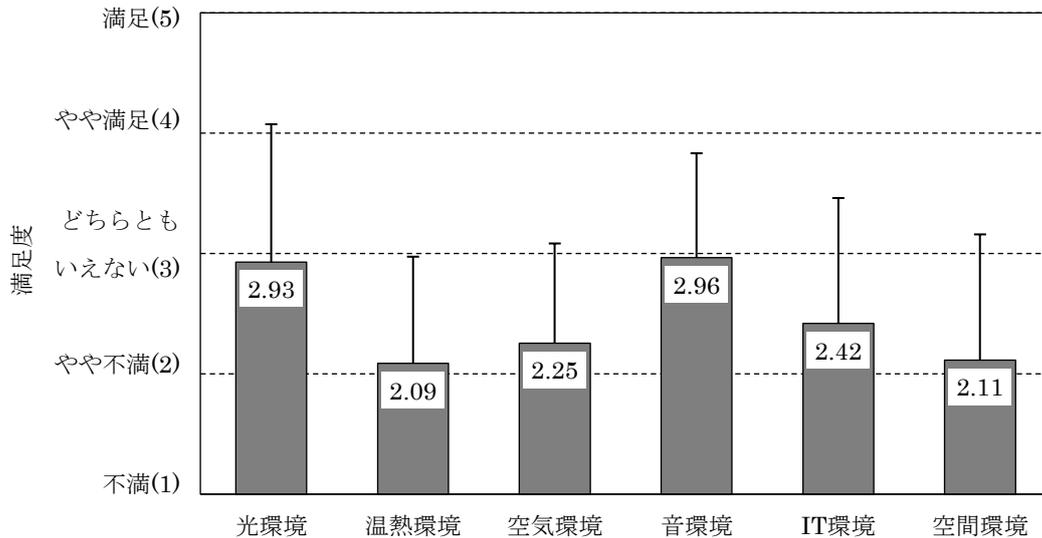


図 3.3.1 6つの環境の満足度

最も不満度が高いのは「温熱環境」となった一方で、最も満足度が高いのは「音環境」となった。また、「温熱環境」と「空間環境」の平均値の差は0.02点とわずかであった。

次に、図3.3.2に執務スペースの6つの環境の重要度について、アンケート回答者198名の平均値を6つの環境毎に示す(未回答は除く)。

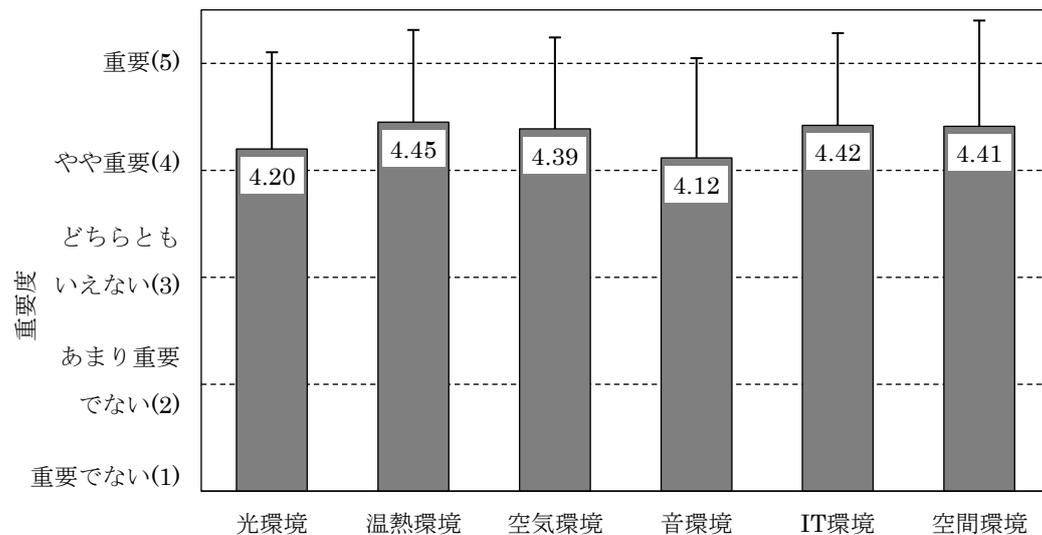


図 3.3.2 6つの環境の重要度

6つ全ての環境において、「やや重要」を上回り、4点を超える結果となった。温熱環境が4.45点を示し、最も重要度が高い。また、回答のばらつきにも大きな差は見られなかった。

次に、図 3.3.3 にアンケート調査により得られた、執務スペースにおける仕事の妨げとなる空間・環境要素について年齢別の回答割合を示す（未回答は除く）。今回のアンケート調査では、仕事の妨げとなる空間・環境要素を表 3.3.1 に示す選択肢から、最も当てはまるものを単一回答させた。

表 3.3.1 「仕事の妨げとなる空間・環境要素」の選択肢

1. 光環境	2. 温熱環境
3. 空気環境	4. 音環境
5. 空間環境	6. IT 環境
7. 人間関係	8. 仕事の内容
9. モチベーション	

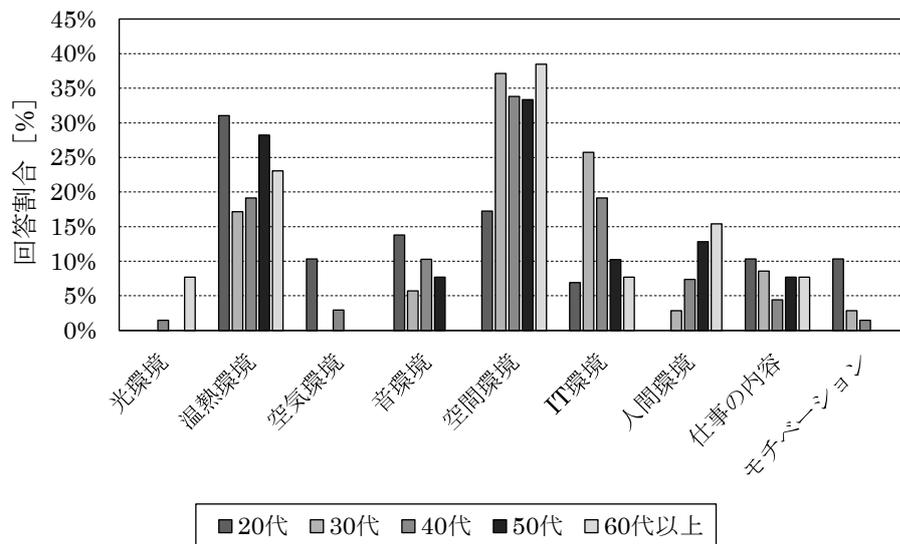


図 3.3.3 仕事の妨げとなる環境要素

最も高い回答割合を示したのは「空間環境」で、次に「温熱環境」が高い回答割合を示した。年齢ごとに比較すると、20代においては「温熱環境」が、30代～60代以上においては、「空間環境」が一番高い回答割合を示し、年齢ごとで違いが見られる結果となった。

### 3.4 新庁舎整備に関する回答結果

ここでは、アンケート調査より得られた、新庁舎整備に関する設問について分析を行った。グラフ内の数値はアンケート回答者数を示す。

また、ここまでの分析は本館・西館職員（198名）を対象に行ったが、以降の結果より分庁舎・生涯学習センターなど市役所全体の職員を対象とし、合計485名の回答結果について示す。

まず、新庁舎整備にあたって特に充実すべき・重視すべきと思うスペースや施設について、8つの施設ごとの回答者数を図3.4.1に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

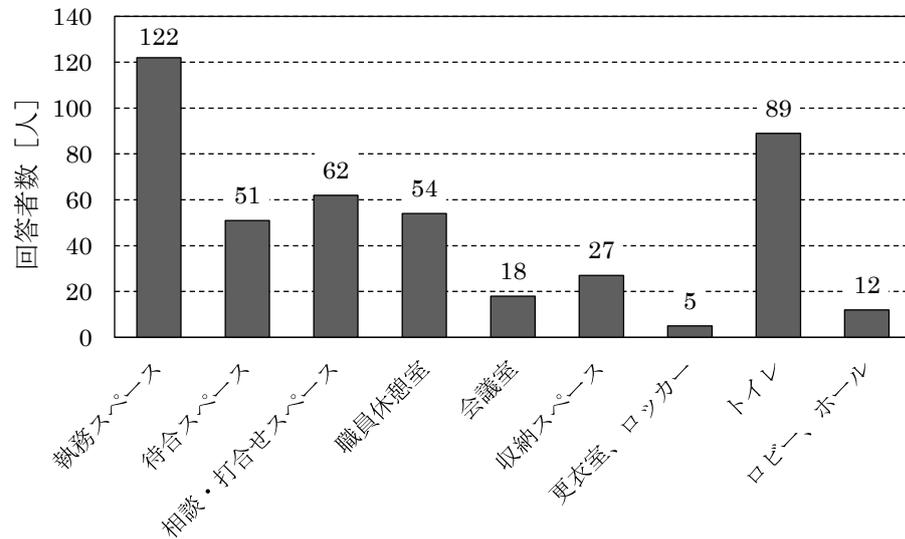


図 3.4.1 充実・重視すべき場所やスペース

「執務スペース」に最も回答が集まり、122名が回答した。次に、「トイレ」が多く89名であった。「会議室」・「更衣室、ロッカー」・「ロビー、ホール」などは回答者数が比較的少ない結果となった。

次に、以下の6つの施設について市民の立場で考えると新庁舎ではどうあるべきか、アンケートより得られた年齢別の回答割合を図3.4.2～3.4.7に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。

### (1) 売店

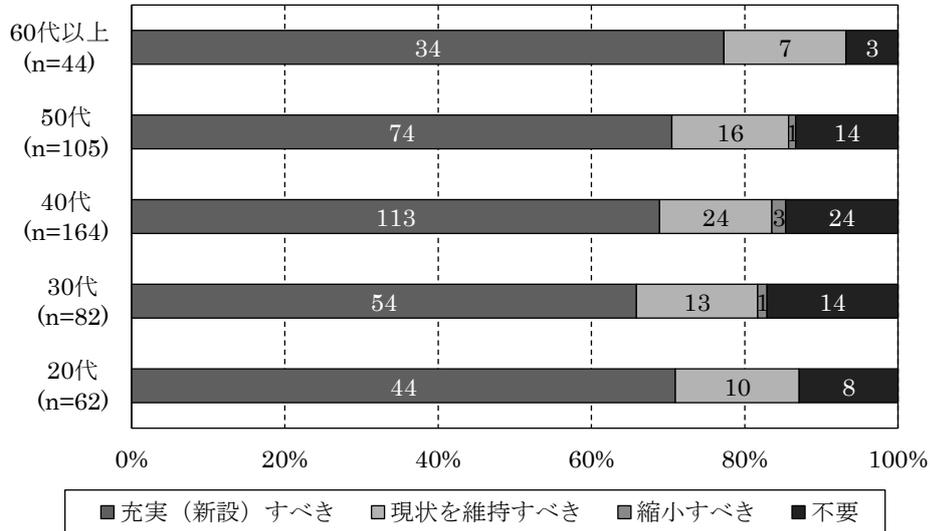


図 3.4.2 売店

年齢に関わらずほぼ同じ回答傾向を示した。また、高年齢層においては「縮小すべき」・「不要」の回答率が比較的低い結果となった。

### (2) レストランおよびカフェ

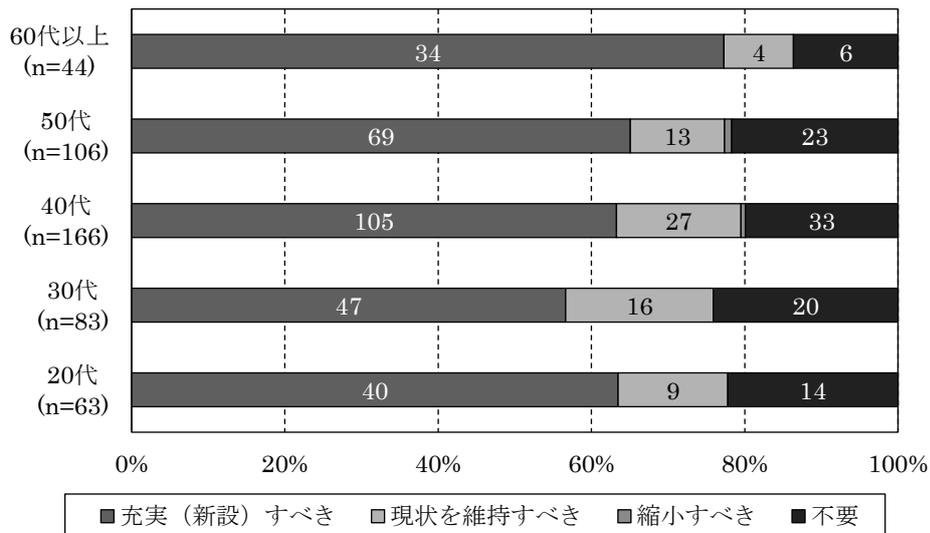


図 3.4.3 レストランおよびカフェ

「60代以上」の約80%が「充実（新設）すべき」に回答した結果となった。また、「20～50代」は「不要」の回答率が比較的高い。

## (3) 美濃加茂市の観光案内

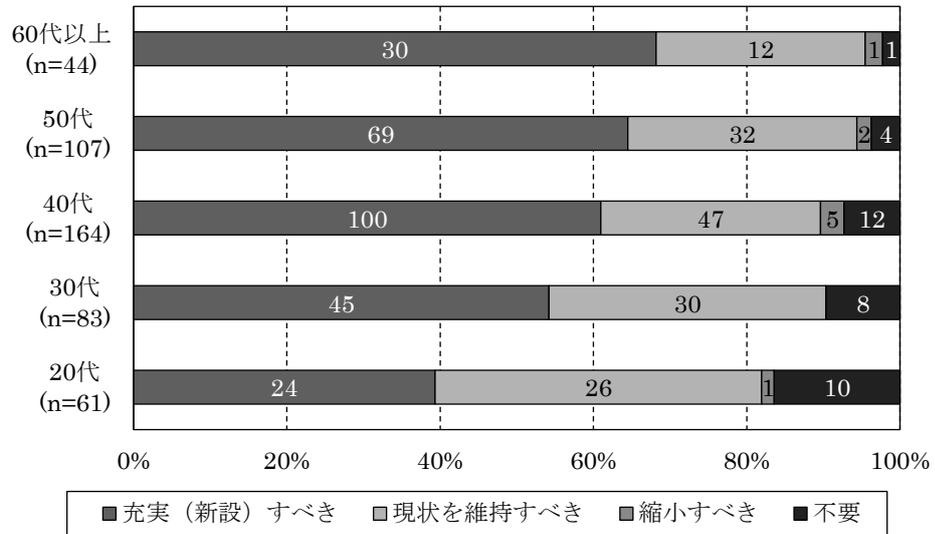


図 3.4.4 美濃加茂市の観光案内

年齢の増加に伴い、「充実（新設）すべき」の回答率も増加傾向を示した。一方で、「不要」の回答率は逆に減少傾向を示した。

## (4) 美濃加茂市の特産品販売

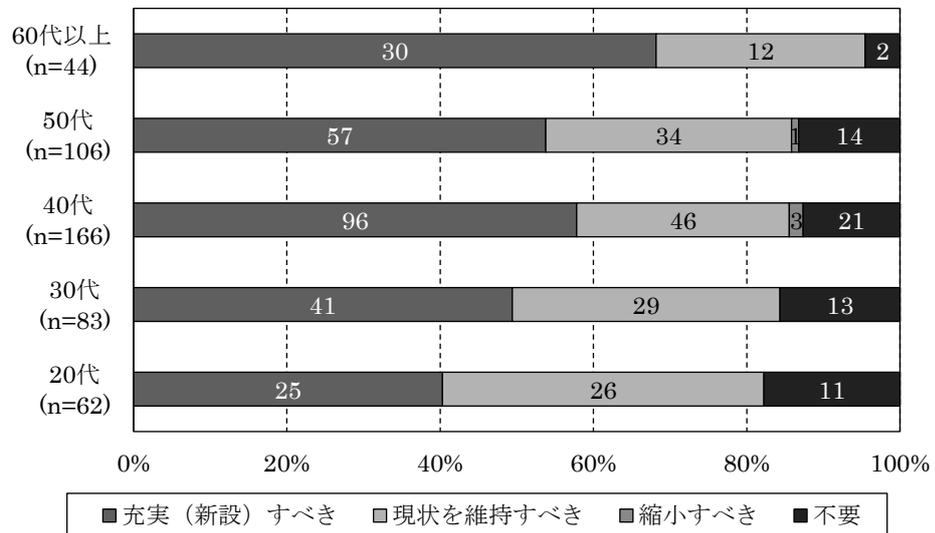


図 3.4.5 美濃加茂市の特産品販売

「美濃加茂市の観光案内」と同様に、年齢の増加に伴い、「充実（新設）すべき」の回答率も増加傾向を示した。一方で、「不要」の回答率は逆に減少傾向を示した。

## (5) 市民協働の拠点やスペース

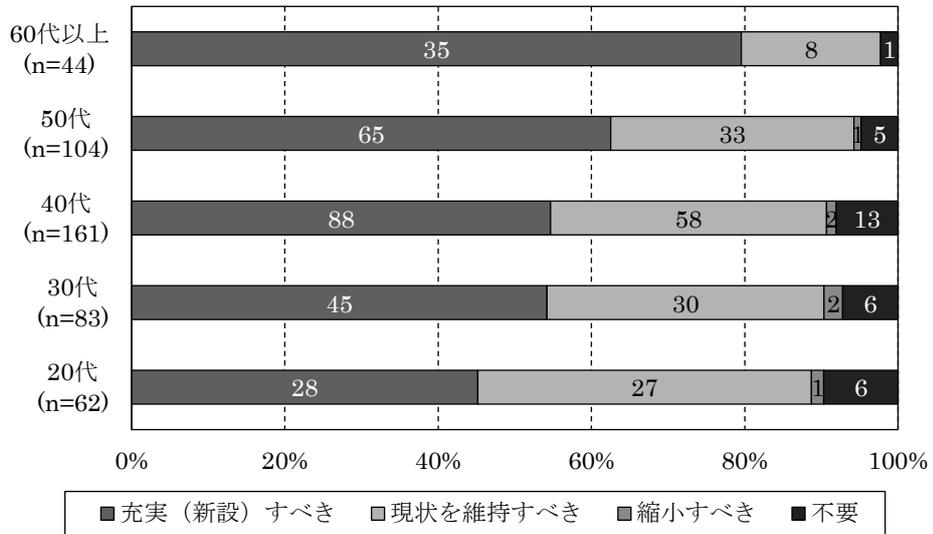


図 3.4.6 市民協働の拠点やスペース

年齢の増加に伴い、「充実(新設)すべき」の回答率も増加傾向を示した。一方で、「不要」の回答率は逆に減少傾向を示した。また、他の施設に比べ「充実(新設)すべき」・「現状を維持すべき」の回答割合が高い。

## (6) 託児所、託児コーナー

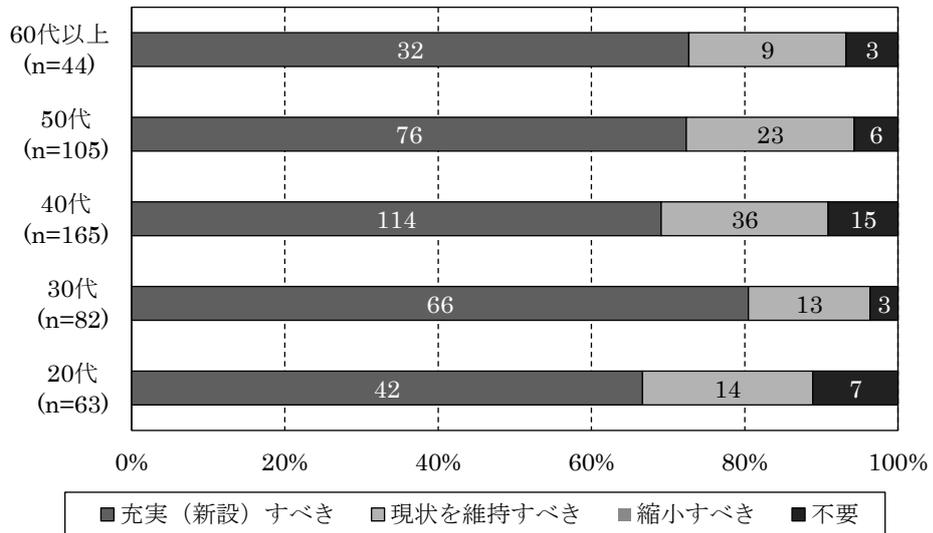


図 3.4.7 託児所、託児コーナー

年齢に関わらずほぼ同じ回答傾向を示した。一方で、子育て世代が多いと予想される「30代」の約80%が「充実(新設)すべき」に回答し、比較的高い結果を示した。

次に、新庁舎における規模・機能集約について、3つの選択肢ごとの回答者数を図 3.4.8 に示す（未回答は除く）。回答方式は図に示す選択肢から単一回答とした。また、「全機能を集約した大規模庁舎」は建設費・維持費が高い、「分散した庁舎」は建設費・維持費が方法によっては抑制可能であるなど、それぞれの特徴についてもアンケート用紙に記載した。

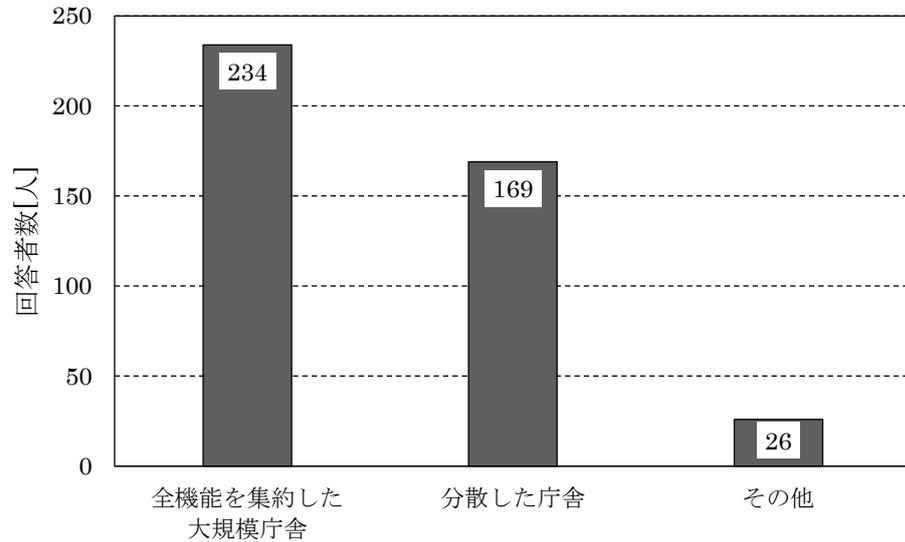


図 3.4.8 新庁舎における規模・機能集約

「全機能を集約した大規模庁舎」に最も多く回答が集まり、55%（234名）の回答割合を示した。